

令和 2 年度進行管理・評価シート
国見町歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）
（最終変更 令和2年6月26日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実現に向けた推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画・景観法・屋外広告物法・阿津賀志山防塁保存管理計画との連携	2
2 景観計画策定に向けた取り組み	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 阿津賀志山防塁史跡整備事業	4
2 阿津賀志山防塁史跡アクセス道改修事業	5
3 阿津賀志山防塁歴史公園整備事業	6
4 無形民俗文化財活動支援事業	7
5 国見町歴史文化読本作成事業	8
6 歴史を活かしたまちづくり推進事業	9
7 案内ボランティア育成事業	10
8 周遊性向上検討・案内板設置事業	11
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の維持・修理に関する取組	12
2 文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組	13
3 文化財の周辺環境の保全に関する取組	14
4 文化財の防災・防犯に関する取組	15
5・6 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組	16～17
7 埋蔵文化財の取扱いに関する取組	18
8 文化財の保存活用に関わっている民間団体と連携・協力した取組	19
9 文化財の保存・活用に関わる近隣市町村および関連機関との連携・協力した取組	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 国見の魅力を学ぶ(案内人研修会登録証を交付)	21
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 文化財の保存・活用の普及・啓発による効果	22
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	23

評価軸①-1 組織体制	
項目	評価対象年度 令和2年度
計画の実現に向けた推進体制	現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 歴史まちづくり庁内検討委員会で計画推進のため庁内の連絡調整を行うものとする。「国見町歴史的風致維持向上計画協議会」に意見や協力を求めることとし、事務局・庁内検討委員会は連携・調整し、計画の推進や計画の変更について連絡調整を行い、必要に応じて国・県と協議しながら進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

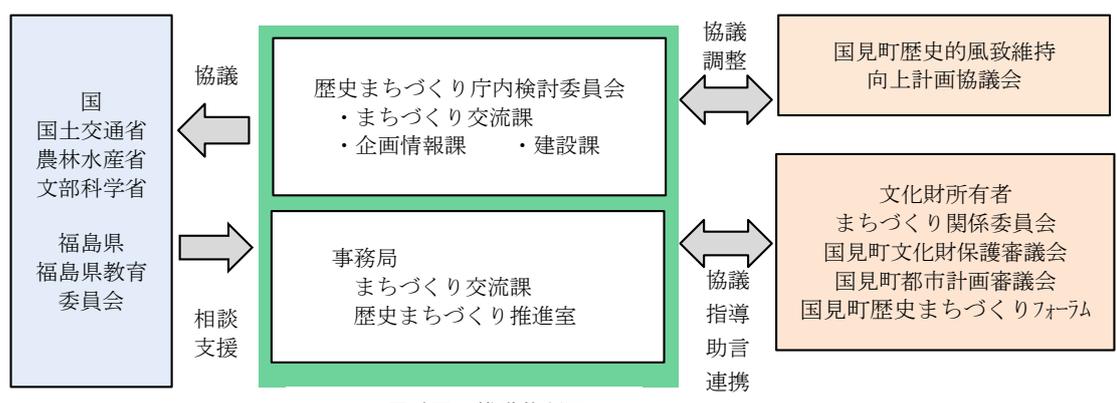
第6回国見町歴史的風致維持向上計画協議会を书面表決にて開催し、進捗管理に関する報告・協議を行った。また歴史まちづくり庁内検討委員会を開催し、事業の実施に係る調整、情報収集(主に阿津賀志山防塁整備事業に関する件)を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史まちづくり計画の事業推進に向け、一層の情報共有と、目的の共有化を図ることが必要であり、連携を強化していく。

状況を示す写真や資料等



■計画の推進体制図

●令和2年度歴史まちづくり庁内検討委員会構成

企画情報課長	1名	総合政策室	1名
建設課長	1名	建設係	2名
まちづくり交流課長	1名	管理係	2名
		歴史まちづくり推進室	4名
		道の駅商工連携室	1名

●会議の状況

会議名称	開催年月日	概要
第6回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	令和2年6月1日～12日(書面開催)	令和元年度進行管理評価・中間評価等
第1回歴史まちづくり庁内検討委員会	令和2年6月19日(持ち回り)	令和元年度進行管理評価・中間評価等
第2回歴史まちづくり庁内検討委員会	令和2年10月8日	令和元年度進行管理評価・中間評価、歴史公園整備事業等
第3回歴史まちづくり庁内検討委員会	令和3年3月24日	歴史的景観保存計画策定事業

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	

都市計画・景観法・屋外広告物法・阿津賀志山防塁保存管理計画との連携

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

【都市計画との連携】「県北都市計画区域」に指定され、都市計画との適切な連携を図ることで、良好な市街地と街並み景観が形成されていくよう誘導を図っていく。
 【景観法との連携】「福島県景観計画」による景観計画区域に町全域が指定され、届出が必要な行為及び景観形成基準が定められ、一定規模以上の開発に対し良好な景観を形成するよう規制している。
 【屋外広告物法との連携】「福島県屋外広告物条例」により、「良好な景観の形成」及び「歴史的風致の維持」などの観点から、町の美観や自然景観を損なわないような規制が定められている。
 【阿津賀志山防塁保存管理計画】文化財保護法に即して策定された「阿津賀志山防塁保存管理計画」により、7つの管理基準に基づき、規制及び今後の保存方針が示され、適切な保存・管理が図られている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域を含む町内を規制している県北都市計画区域・福島県景観計画・福島県屋外広告物条例および、阿津賀志山防塁の規制と保存方針を示した同保存管理計画の規定に基づき、開発等の届出・申請が必要な行為に対し、助言や手続きを行った。

- 令和2年度実績
- ・福島県屋外広告物条例(特別規制区域・普通規制区域) 届出17件
 - ・阿津賀志山防塁(国指定史跡範囲) 現状変更申請 4件 (※軽微な変更含む)

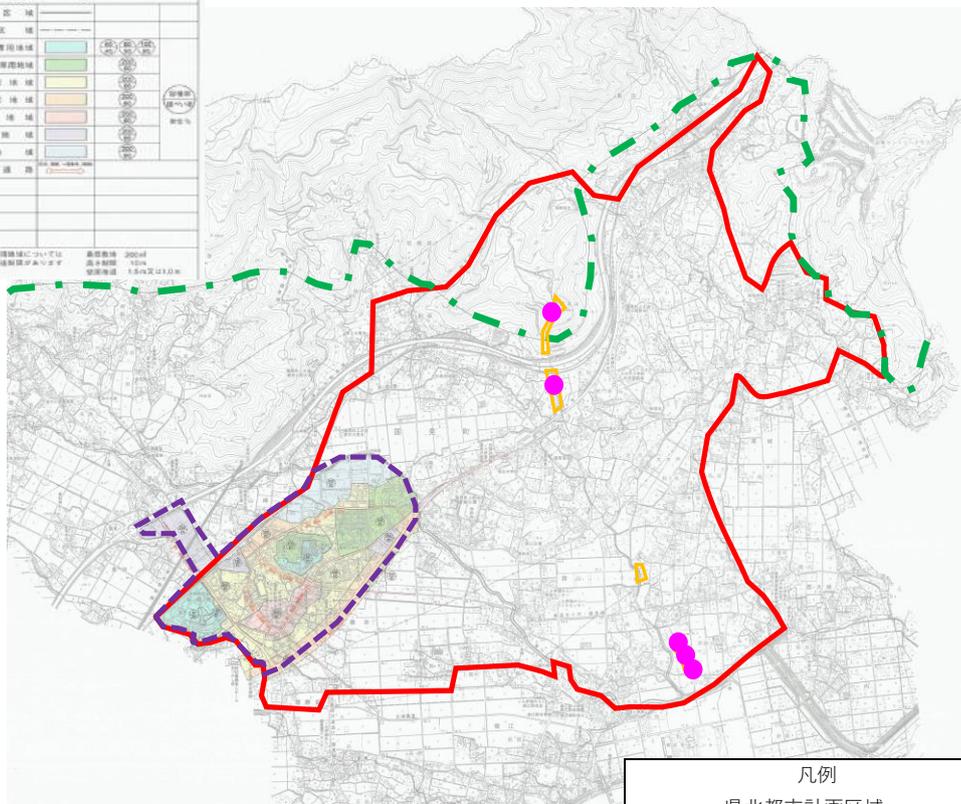
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

都市計画区域	市街化区域	阿津賀志山防塁国史跡範囲	重点区域	史跡現状変更箇所
第一種中高層住居専用地域	第一種住居地域	阿津賀志山防塁国史跡範囲	重点区域	史跡現状変更箇所
第二種中高層住居専用地域	第二種住居地域	阿津賀志山防塁国史跡範囲	重点区域	史跡現状変更箇所
第三種中高層住居専用地域	第三種住居地域	阿津賀志山防塁国史跡範囲	重点区域	史跡現状変更箇所
商業地域	工業地域	阿津賀志山防塁国史跡範囲	重点区域	史跡現状変更箇所
工業地域	工業地域	阿津賀志山防塁国史跡範囲	重点区域	史跡現状変更箇所
都市計画道路	都市計画道路	阿津賀志山防塁国史跡範囲	重点区域	史跡現状変更箇所



良好な景観を形成するために連携する各種規制区域

- 凡例
- 県北都市計画区域
 - 市街化区域
 - 阿津賀志山防塁国史跡範囲
 - 重点区域
 - 史跡現状変更箇所

評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
景観計画策定に向けた取り組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 本町には、奥羽山脈を西に擁し、雄大な山並みと阿武隈川の恵みを背景に美しい田園風景が広がる農村景観、および奥州街道・羽州街道沿いに形成された街道集落を中心とする歴史的景観、旧宿場町を母体とする都市景観など、多様で良好な景観が形成されている。歴史遺産とともに、雄大な山並みと一体となった景観を維持し、後世に継承するため、景観行政団体へ移行するとともに、景観法に基づく景観計画を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域に残る歴史や文化、自然を守り、活かしながら、周辺の景観と調和した良好なまち並み・景観の形成を図るため、景観行政団体として取り組むべき景観施策を明らかにした上で、今後の国見町における景観づくりの方針等を示した景観計画を平成30年度より4か年かけて策定している。

令和2年度実績
 ・景観計画策定に向け、住民の景観に対する問題点、今後の景観形成の方向性を具体的に把握するため、町内の16団体に対してヒアリングを行った。町民アンケート結果やヒアリング内容を基に「国見町歴史的景観保存計画(素案)」を作成し、歴史まちづくり庁内検討委員会にて内容を確認した。

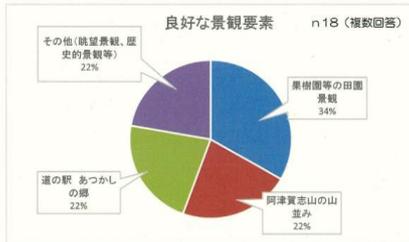
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	「国見町歴史的景観保存計画(素案)」について、早期の策定を目指し、当該計画との連携を密に景観施策について取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等

2. 団体ヒアリング結果のまとめ

Q1 本町の良好な景観要素とその理由、維持・向上方策

本町の良好な景観を形成していると思う景観要素とその理由をお聞かせください。その上で、あなたがお考えになる良好な景観要素の維持・向上方策に関してお聞かせください。



●【果樹園等の田園景観】がよい理由と維持・向上方策

理由	維持・向上方策
・自然は私たちの心を豊かにしてくれるし、安心感を与えてくれる	●雑草を刈ることや道の整備
・果物の花と果物の色・大きさ、青々とした水田と黄金色に染まった稲穂	●農業、後継者の不足問題もあるので、会社組織にしてはどうでしょうか？
・国見の特産でもある桃・柿・米などの農産物が国見町の面積の多数を占めている	●農家の後継者の育成
・四季折々の花、サクラや桃、プラム、柿などと、水田の緑、稲穂の黄色、里山の新緑、秋の紅葉が美しい風景	●田んぼの米、畑作の桃、プラム、柿、りんごは農業従業者の手入れ・収穫により景観が保たれているが、農業後継者が年々減少の傾向にあり、維持管理していく上で、外部の人材資本も必要であり、国見町に移住して農業をやりたい環境づくりをすることが必要と思う
・四季折々の顔を見せてくれて、果樹園を眺めながら季節を感じたり、果樹の成長を楽しむことができるから	●桃の花の時期以外にも、1年を通して、よい田畑の景色を見ることができるよう周遊 map に追加する
・国見の産業と深く関わっているから	●国見の産業と深く関わっているから。田んぼアートなど、わざわざ見に行きたいと思えるような工夫をする

●【阿津賀志山】がよい理由と維持・向上方策

理由	維持・向上方策
・4号線又高速道路走るとなんとなく気になる山の形	●山の木の伐採に気をつける
・伊達市梁川から国見に向かって来ると、上記の裾野に広がる町のたたずまいがとても美しい	●雑木の伐採とある程度統一のある樹木の植樹があると景観的には良いと思う。
・町を代表する山であり見慣れた風景だから	●山林への手入れや道路の整備
・自然がとてもしきれいかにも国見っぽい感じがするから	●阿津賀志山をもっと宣伝して、阿津賀志山をきれいにする取り組みを作って町民や町外の人に参加してもらいたいと思う

●【道の駅 あつかし の郷】がよい理由と維持・向上方策

理由	維持・向上方策
・車で通ると入ってみたいくなる作り。品がある	●いつもきれいに遊りたてのように
・阿津賀志山、山坂峠、半田山、吾妻連峰等をのぞめる事が出来る	●道の駅を起点とした整備(カATALOG、道路など)
・年間を通してあらゆるイベントが開催されて果物、農業が売れている	●いかにして年間恒久的なお客を迎えられるか、それには品揃えが重要である
・現在イルミネーションを行い、一層の集客があり景観が優れている	●四季を通じたイベントを行い、商工会員も参加し、にぎわい集客を行っている

●その他の良好な景観要素

【阿津賀志山防壁、点在する碑群等の歴史的景観】

理由	維持・向上方策
・国見町の歴史的な遺産は私たちの生活の道しるべ	●歴史的な遺産については、人々が散策できるような広報活動が必要
・阿津賀志山防壁、奥州古戦における激戦場	●阿津賀志山防壁は歴史的背景の説明等が理解されてなく、来訪者の案内や説明が必要。方策としては次世代を担う案内人を確保
・点在する碑群、他に見られない碑群	●自然、碑群の歴史などの特徴を踏まえ自然と碑群の両方を加味した散策路の整備

【阿津賀志山からの眺望景観】

理由	維持・向上方策
・一度見たら感動する	●もっと阿津賀志山の整備をして誰もが気軽にに行ける用になれば歴史も有る山なので目玉になる

団体ヒアリング調査結果「本町の良好な景観要素とその理由、維持・向上方策について」(一部)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
阿津賀志山防塁史跡整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和6年度

支援事業名 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業、史跡等買い上げ事業

計画に記載している内容 史跡の追加指定や公有地化した範囲を含め、整備に必要な情報を得る為の、史跡内容確認調査を行うとともに、堀・土塁などの復原整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①【下二重堀地区】2筆(1,134㎡)の公有地化
- ②【下二重堀地区】史跡整備事業として支障木伐採(415.0㎡)
- ③【国道4号北側地区】史跡整備事業として支障木1本伐採
- ④【遠矢崎地区】遺構内容確認を目的とした第25次発掘調査(令和2年5月22日～令和2年6月12日:A=36㎡、60㎡)
- ⑤【下二重堀地区】阿津賀志山防塁下二重堀地区史跡整備実施設計(公園整備 A=719.0㎡)
- ⑥第25次調査成果および歴史公園整備事業に関わる協議のため調査・整備指導委員会を開催(書面会議:令和2年10月13日～21日、令和2年12月16日)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

史跡等買い上げ事業については、平成28年度から開始し、概ね計画通りの進捗であるため、引き続き公有地化・活用について推進する。

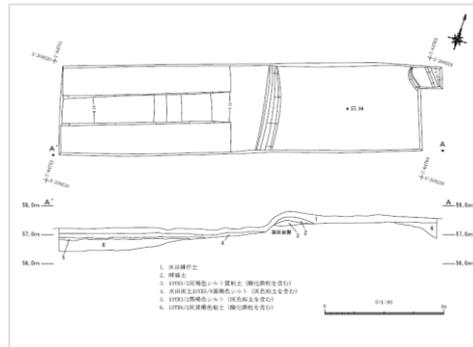
状況を示す写真や資料等



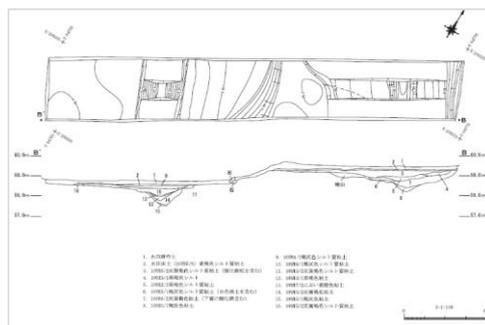
下二重堀地区実施設計箇所・発掘調査区



第25次調査 1号トレンチ調査状況



下二重堀地区公園整備実施設計平面図



令和2年度調査トレンチセクション図・平面図

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
阿津賀志山防塁史跡アクセス道改修事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 町単独事業、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

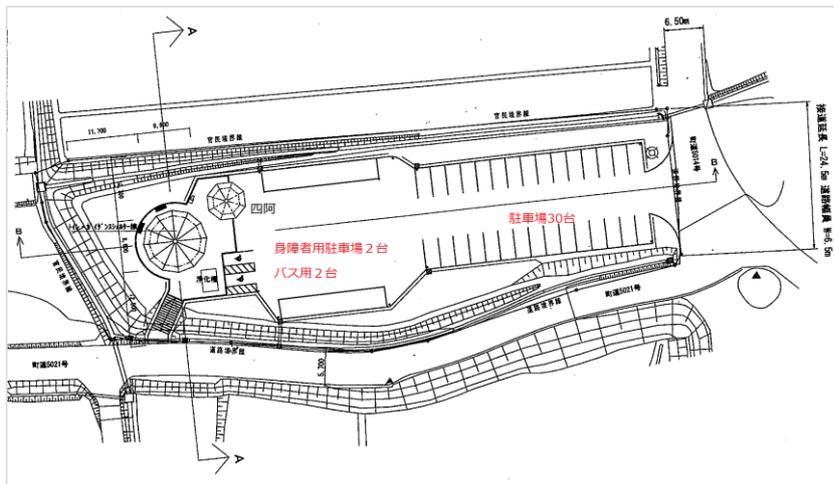
計画に記載している内容 阿津賀志山防塁の保存状態が良好な箇所は、傾斜地や農地に分散しアクセス道の整備が行き届いていない。車幅が不十分な町道はバス等の進入が困難であるため、町道改修を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【下二重堀地区】阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園整備造成工事により来訪者駐車場の整備を行っている。これまでバスのアクセスは道路幅員の関係で困難であったが、バスの駐車や転回も可能な駐車場を整備することで、バスによる来訪者受入も可能になる。現道を活かした施設整備によりアクセスの向上を図る。駐車場整備は令和3年度中に完成予定。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度で下二重堀地区の整備は概ね完了するため、その他の地区のアクセス道整備について、費用対効果を検証しながら推進する。

状況を示す写真や資料等



阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園
平面図(駐車場部分)



歴史公園駐車場整備状況(令和3年度完成予定)

評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
阿津賀志山防塁歴史公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和4年度		
支援事業名	町単独事業、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	下二重堀地区と国道4号北側地区の周辺に園地整備を行う 下二重堀地区周辺においては、駐車場・遊歩道の整備を行い阿津賀志山と中尊寺蓮池を一体的に周遊できるよう整備、またガイダンス広場を設置し歴史認識を深めるよう整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園造成工事(令和2年3月18日～令和3年5月31日) ②阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園建築工事(令和3年1月18日～令和3年5月10日) ③歴史公園整備事業に関わる協議のため調査・整備指導委員会を開催(書面会議:令和2年10月13日～21日、令和2年12月16日) ④阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園の愛称を公募し、「あつかし千年公園」に決定(募集総数:町内外より299件) ⑤公園整備後の管理や活用に向けた地域住民団体との打ち合わせを9回開催			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	下二重堀地区については、管理・活用についての検証が、国道4号北側地区については公園整備について住民・議会等への丁寧な説明が必要となる。		
状況を示す写真や資料等			
			
阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園整備状況(令和3年度完成予定)			
			
歴史公園愛称決定表彰式 (1月14日)		調査・整備指導委員会を開催(書面会議:令和2年10月13日～21日、令和2年12月16日)	

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財活動支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和6年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業、文化遺産総合活用推進事業、町単独事業

計画に記載している内容 祭礼や神楽等の伝統芸能を行っている団体と連携し、活動内容の把握と映像による記録作成などの学術調査を行うとともに、団体に対し伝統的な用具等の修繕や活動を保存していく取り組みに対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

①町指定無形民俗文化財の保護団体である1団体に対し、文化財保護育成にかかる活動について助成(国見町社会教育関係団体補助金)を行った。
 ②子どもへの継承を図る子ども太々神楽教室を支援し、8人の生徒が7回の練習と2回の発表を行った。教室では、マスクの着用・消毒な新型コロナウイルス感染予防対策に努め、発表のステージでも観客や出演者のソーシャルディスタンスの確保、全出演者の検温など予防対策を講じて実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 新型コロナウイルスの影響で祭礼が中止となったが、太々神楽については発表の機会を設けることができた。今後の祭礼の開催方法や安全確保について検討が必要である。

状況を示す写真や資料等

■子ども太々神楽教室

明治時代より伝わる内容春日神社太々神楽を後世に伝えるため、9月から10月にかけて7回の練習が行われ、10月に道の駅国見で開催された「道の駅大交流フェスタ」及び国見町文化財センターで開催された「あつかしまつり」のステージにて太々神楽を披露した。



練習風景



道の駅大交流フェスタでの発表(10月10日)



あつかしまつりでの発表(10月25日)

■無形民俗文化財支援

タイトル	概要
内谷春日神社太々神楽保存会への支援	助成金(町単独)
子ども太々神楽教室	国見町子ども太々神楽教室育成会事業に対する支援

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
国見町歴史文化読本作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和6年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 阿津賀志山の合戦、鹿島神社の例大祭など各地の歴史や史跡・建造物と人々の活動をそれぞれのテーマ毎に調査成果をまとめ、「歴史文化読本」(仮称)を作成する。また小中学校の授業とも連携し『国見学』を深める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度に町の文化財や人々の活動等の周知啓発を図るため、歴史や文化財を網羅し小中学生や来町者に分かりやすく、歴史めぐりができる「くにみ歴史本」を4000部作成した。今年度は町内の小中学生に配布し、小学校の歴史フィールドワークや中学校の歴史学習にて教材として活用した。また、文化財センターあつかし歴史館のボランティアスタッフ研修会での教材としても使用し、町の歴史や文化への理解を深めるために活用した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

小・中学生への歴史学習については、新型コロナウイルス感染症対策の対応に苦慮したため、今後もさらなる安全・安心な機会を設けることが必要。

状況を示す写真や資料等



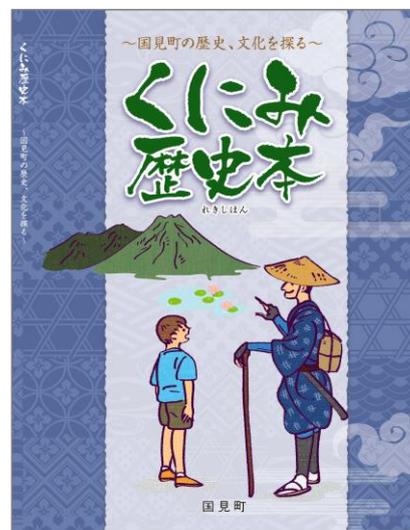
国見小学校歴史フィールドワーク



県北中学校歴史学習



文化財センターあつかし歴史館のボランティアスタッフ研修会



「くにみ歴史本」表紙

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
歴史を活かしたまちづくり推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、文化遺産総合活用推進事業、町単独事業		
計画に記載している内容	歴史を活かしたまちづくりや地域住民のまちづくり参加への意識醸成及びまちの魅力の再発見が重要かつ必要であり、住民向けの講演会、ワークショップ、シンポジウムの開催を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史を活かしたまちづくりを進めるため、様々な視点をもったワークショップ等を開催した。 ①「石工(ロック)フェスin石蔵2020」にて、郡山女子大学人間生活学科建築デザインコースの学生の協力により、国見石や石蔵にまつわるワークショップを旧小坂村産業組合石蔵を会場に行った。また、学生が制作した石蔵模型や国見石に関する工具等の展示・解説を行った(約90名参加)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス対策として密を避けるため、シンポジウムが開催できなかった。イベントでの感染防止対策と、インターネット配信なども含めたシンポジウム開催方法の検討が必要である。		
状況を示す写真や資料等			



郡山女子大学長田研究室の学生によるワークショップ
石蔵デコ貯金箱作り・石蔵宝探しなど



学生が制作した石蔵模型や国見石に関する工具等の展示・解説

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
案内ボランティア育成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和6年度

支援事業名 町単独事業、文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 本町を訪問する観光客や小中学校の児童・生徒に対し、町の歴史や人々の伝統的な活動、町並みと現在の国見町について語ることができる人材の育成を図る。案内ボランティアの養成・研修を目的とした、講習・現地視察等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本町には、様々な時代や生活文化を反映した文化財が所在し、現地での案内ガイドがセットになることで、魅力・価値が高まる。案内ガイドを担うボランティアガイドの育成を図った。現在、案内ガイド「くにみ案内人」は17名が登録。基礎研修として研修会を2回開催し、のべ21名が参加した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

ガイドの資質向上と、多くの来町者への対応力育成を継続的に行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



くにみ案内人第1回研修会(7月4日)
 講演:「くにみ案内人として」
 (場所)道の駅 研修室



くにみ案内人第2回研修会(9月17日)
 町の魅力について伝えるワークショップ
 (場所)国見町役場 大会議室

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
周遊性向上検討・案内板設置事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～令和3年度		
支援事業名	町単独事業、文化遺産総合活用推進事業、福島県観光力づくり支援事業		
計画に記載している内容	来町する観光客が、本町の点在する文化財を効率よく、かつ楽しみながら観光できるより良いルートを検討し、周遊案内板の設置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
道の駅・JR藤田駅等を拠点とした周遊ルートの実践的検討を目的とした周遊観光ツアーなどを実施。町の歴史をはじめとした豊富な観光資源の周知啓発につながった。 ①くにみ周遊ツアー：夏・秋2日、計4回開催した。 ②町内歴史散策ツアー：町イベントやJR東日本と連携し、町内の歴史を散策するツアーを開催した(計1回)。 ③歴史文化遺産解説看板設置：案内解説板を3か所に設置した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス対策として、人数制限を行いツアーを開催した。参加者が安心して参加できるような感染防止対策と、オンラインなどの活用も検討が必要である。		
状況を示す写真や資料等			



【夏のくにみ周遊ツアー】

8/7.8/8中尊寺ハスと光明寺集落めぐり&桃狩り体験



【秋のくにみ周遊ツアー】

11/20.11/21国見町史跡めぐり&あんぼ柿加工体験



【歴史文化遺産解説看板設置】

町指定史跡 旧羽州街道小坂峠道跡

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
文化財の維持・修理に関する取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
経年劣化や災害等の外的要因によるき損の恐れがあることから、日頃の維持管理を含めた予防対策と、き損した場合の適切な修理が求められる。所有者等による適切な維持管理と日常的な点検を行うことで損傷の早期発見に努め、必要に応じて、所有者等の意識向上のための適切な助言を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①国史跡「阿津賀志山防塁」ほか町史跡等における草刈 10か所
- ②福島県重要文化財(建造物)「旧佐藤家住宅」燻蒸作業 4回実施
- ③文化財パトロールの実施(強風による倒木の伐採及び整備、2/13発生福島県沖地震等被害状況調査)

進捗状況 ※計画年次との対応
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
国登録有形文化財等、民間の資力では維持修繕が困難な文化財が存在するため、町の補助や資金確保についての協力が必要。

状況を示す写真や資料等



国史跡「阿津賀志山防塁」草刈作業



文化財パトロール
2/13発生福島県沖地震等被害状況調査
(国登録「旧小坂村産業組合石蔵」の壁の一部崩落を確認)



施工前



施工後

文化財パトロール
藤田城公園 強風による倒木確認・処理

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本町は、国見町観月台文化センター内の歴史資料室が、文化財を展示・活用する施設となっているが、博物館的機能や町の文化財を総合的に情報発信する機能は十分ではない。このことから、今後これらに関する機能を持ち合わせた施設の整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国見町文化財センター「あつかし歴史館」の施設機能向上とともに、新型コロナウイルス対策を施しながら、利用者が足を運びやすい企画・展示をタイムリーに実施することで、町の文化財に対する理解を深めてもらうきっかけとした。 <ul style="list-style-type: none"> ・季節・年中行事を取り込んだ部分展示を実施。 ・展示内容の充実を図り町の歴史理解を深める展示を実施した。 ・あつかし歴史館に保存・展示している町郷土史家・故菊池利雄先生の研究資料を町民向けに解説する町民講座を計9回開催し、延べ110人が受講した。 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス対策として、来館者へのマスク着用・検温・消毒・来館者名簿作成による来館者管理、また施設内のこまめな消毒作業を徹底し施設運営をした。引き続き、感染防止対策を講じて運営する。		
状況を示す写真や資料等			



あつかし歴史館展示室部分展示
(上巳の節句・桃の節句飾り)



あつかし歴史館常設展示
(廊下を利用した国見石に関する展示)



あつかし歴史館企画展示
(阿津賀志山防塁展)



あつかし歴史館町民講座

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財の周辺環境の保全に関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財周辺の景観を阻害する要素の改善や除却を推進するとともに、文化財の説明板や案内板、誘導サイン等の公共サイン、便益施設等の公共施設を新たに設置する際や劣化によりその機能を発揮できていないものを再整備する際は、文化財や周辺の環境と調和したものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①阿津賀志山防塁国道4号北側地区および下二重堀地区において、史跡買上げ事業が実施されたことにより、景観の阻害となっていた樹木の一部が取り除かれ、景観の改善が図られた。
- ②劣化した貝田宿案内板を再整備した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



阿津賀志山防塁史跡買上げ事業実施箇所 (下二重堀地区)
(福島県伊達郡国見町大字西大枝字下二重堀26-2)



貝田宿案内板修繕

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
文化財の防災・防犯に関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 火災や地震等の災害による文化財の損失を防ぐため、個別の有形文化財毎に防災対策を検討する等、被災リスクの予防・軽減を図る。不幸にも、文化財が被災してしまった場合は、その後の防災対策に役立てるため、被災履歴を記録する体制を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

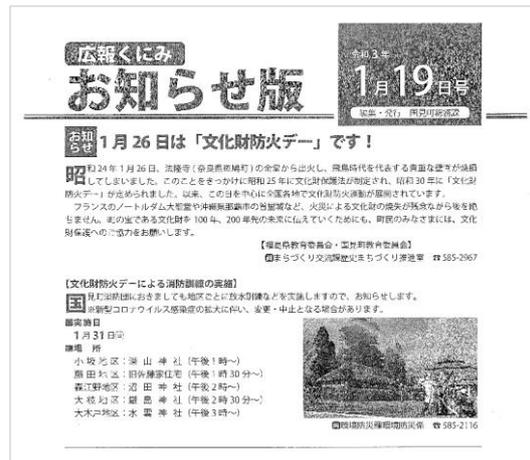
- ①防火に対する取組
 - ・国見町消防団と連携し、町内文化財の消防訓練を町内5か所で実施(1月31日)
 - ・「文化財防火デー」の取り組みおよび火災への備えを周知する広報実施
- ②防犯に対する取組
 - ・県文化財保護指導委員と連携した、文化財パトロールの実施(7月4日)
- ③被災文化財に対する取組
 - ・町文化財保護審議会委員である長田城治氏(郡山女子大学准教授)と福島県沖地震で被災した文化財の被害状況確認を行い、補修について助言をもらった。また、文化財所有者と復旧方法を検討するため協議を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



消防訓練の様子 県重文「旧佐藤家住宅」



町広報紙(お知らせ版)による周知



文化財パトロール(7月4日)



地震被害状況確認と修繕方法の検討(3月15日)

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	案内板等の設置やパンフレット等の作成・配布とともに、国見町文化財ボランティア等によるガイド活動や講演会・シンポジウムなどのイベントの開催等により、文化財に対するの普及・啓発を広く図っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的建造物等の公開、学校教育との連携、歴史講座・まちあるき、祭礼との連携活動、文化財の案内ガイドなどを実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	町の財源も限られているため、費用対効果を十分検証しながら進めて行くことが必要。		

状況を示す写真や資料等



総合学習での国見学の取り込み
国見小学校6年生歴史フィールドワーク



あつかし歴史館イベント
ひなまつり

■文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組

タイトル	年月日	概要等
あつかし歴史館イベント	令和2年8月から令和3年3月	歴史と年中行事にまつわるイベント 3回延べ約270人
石工(ロック)フェスin石蔵 2020	令和2年9月22日	旧小坂村産業組合石蔵で体験型イベント90人
総合学習での国見学の取り込み	令和2年9月30日	国見小学校6年生歴史フィールドワーク 69人
くにも周遊ツアー	令和2年8月7日・8日、11月20日・21日	町内周遊ツアーの実施 4日間計4回 48人
校外学習の事前講義	令和3年2月4日	県北中学校2年生 国見と平泉の歴史について
総合学習での国見学の取り込み	令和3年2月25日	国見小学校3年生 旧佐藤家住宅見学学習 37人
ボランティアガイド(くにも案内人)案内件数	令和2年度	9件278人

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
埋蔵文化財の取扱いに関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本町における「周知の埋蔵文化財包蔵地」は、137ヶ所存在する。これらは地域の歴史を語る重要な歴史的資料であり、文化財保護法に基づく保護が求められる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
史跡整備に伴う発掘調査を1件実施した。このほか開発に伴う工事立会などを実施した。 【史跡整備に伴う発掘調査】・阿津賀志山防塁 1件 【開発に伴う工事立会】・山崎条里跡 2件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



史跡整備に伴う阿津賀志山防塁の発掘調査



開発に伴う工事立会(山崎条里跡)

評価軸④-8
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
文化財の保存・活用に関わっている民間団体と連携・協力した取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 当町には、文化財の調査・発信をしている団体や、無形の民俗文化財を保護するために活動している団体等、多種多様な活動を展開している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【町内民間団体】

- 国見町郷土史研究会による講演会、方部研修会、展示会の開催
11月～12月 阿津賀志山防塁展示
11月15日 西大枝・川内方部研修会・フィールドワーク(西松寺観音堂、西大枝古館跡、築館土塁跡、仲興寺) 60人参加
12月6日 郷土史研究会講演会「中世石母田の水田地名」 30人参加
- 内谷春日神社太々神楽保存会・国見町子ども太々神楽教室育成会
10月 「道の駅大交流フェスタ」及び「あつかしまつり」での太々神楽公演
9月～10月 子ども太々神楽教室の開催
- 国見町中尊寺蓮育成会による中尊寺蓮の育成
9月 絵画コンクールの開催 134名からの応募
- 大木戸歴史むらづくりの会との連携
8～3月 あつかし歴史館イベント 計3回、来場者のべ約270名

【町外団体】

- JR東日本による「JR小さな旅」の開催 1回開催

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	下二重堀地区の公園整備に伴う管理・活用については、関係団体との密な連携が必要となる。

状況を示す写真や資料等



郷土史研究会方部研修会



郷土史研究会講演会



中尊寺蓮絵画コンクール



あつかし歴史館×大木戸歴史むらづくりの会
「七夕まつり」

評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財の保存・活用に関わる近隣市町村および関連機関との連携・協力した取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 当町の文化財を保存・活用していくためには、本町をはじめとする行政機関だけで取り組むことは難しく、地域において文化財の保存・活用に取り組んでいる団体と連携することは不可欠である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 【主催事業】
- 国見小学校 郷土学習(史跡探検・旧佐藤家住宅見学学習)
 - 県北中学校 校外学習の事前講義(国見と平泉の歴史について)
 - 公民館事業 成人学級・国見ジュニア応援団(史跡巡り)
 - 福島大学 域学連携事業(内谷集落活性化)
 - 郡山女子大学 石工フェス2020

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今後は近隣市町村との広域連携事業をどのように進めて行くかが課題。

状況を示す写真や資料等



国見小学校「郷土学習・旧佐藤家住宅見学」



公民館事業・成人学級「史跡巡り」



国見ジュニア応援団「史跡巡り」



福島大学域学連携事業「しめ縄作り体験」

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	令和2年度
国見の魅力を学ぶ(案内人研修会登録証を交付)	令和2年7月11日	福島民報
国見中尊寺蓮題材絵画作品を募集(中尊寺蓮育成)	令和2年7月20日	福島民報
夏の周遊ツアー(遺跡巡り)	令和2年8月10日	福島民報・民友
七夕まつり(あつかし歴史館)	令和2年8月11日	福島民報
太鼓や舞繰り返し練習(太々神楽)	令和2年9月11日	福島民友
国見石の歴史楽しむ(石エフェス)	令和2年9月16日	福島民報・民友

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史まちづくりに関する取り組みを積極的に報道機関へ情報提供し、発信が図れた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	報道と連携しながら、町の魅力を最大限PRできる事業内容を模索しなければならない。

状況を示す写真や資料等

- 文化財センターに関する記事
 - ・大木戸歴史むらづくり会との連携企画 あつかし歴史館にて七夕まつりイベント開催(令和2年8月10日 福島民報)
 - ・あつかし歴史館にて「阿津賀志山防塁展」(令和2年10月15日 福島民報、令和2年10月17日 河北新報)
- 祭礼・イベントに関する記事
 - ・内谷太々神楽教室(令和2年9月11日 福島民友)
 - ・「国見石」の歴史を楽しむ 石エフェスIn石蔵2020(令和2年9月26日 福島民報・民友)
- 阿津賀志山防塁に関する記事
 - ・阿津賀志山防塁展(令和2年10月15日 福島民報、令和2年10月17日 河北新報)
 - ・国見の歴史公園 愛称決定「あつかし千年公園」(令和3年1月14日 福島民報・民友)



あつかし歴史館七夕まつりイベント
(令和2年8月11日記事掲載)



太々神楽教室



「石エフェス」ワークショップ
(令和2年9月16日記事掲載)



歴史公園愛称決定表彰式
(令和3年1月14日記事掲載)

評価軸⑥-1
その他(効果等)

項目 評価対象年度 令和2年度

文化財の保存・活用の普及・啓発による効果

計画に記載している内容
本町では、本町の文化財の活用を効果的に行うために、町内外の多くの人々に文化財の存在を知ってもらい理解してもらう機会を提供する普及・啓発の取り組みを行ってきた。奥山家住宅などの歴史的建造物等については、町のイベントや文化財公開デーなどの機会に内部を公開し、町内外の人々へ魅力を発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和2年度案内ボランティア(くにみ案内人)利用者延べ人数及び利用団体数は278名、9団体の利用で、新型コロナウイルスの影響により、前年度と比較すると大幅に減少した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため奥山家住宅一般公開を行わなかった。

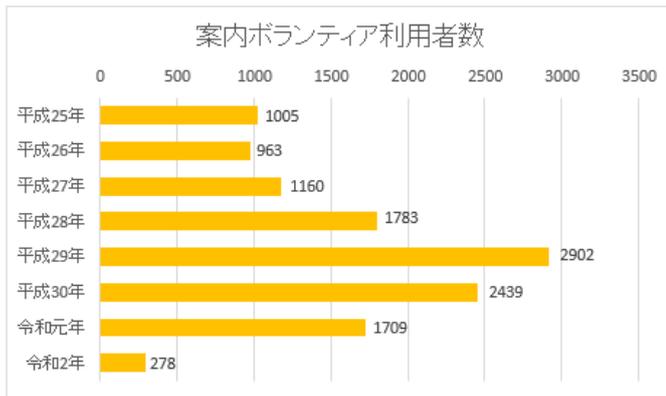
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし
案内ガイドの健康安全に配慮した活動。
歴史的建造物の内部一般公開の機会が減少したため、デジタルコンテンツを活用し、魅力をPRしていく。

状況を示す写真や資料等

■案内ボランティアの利用実績

年度	利用者延べ人数	団体利用延べ人数
平成25年	1,005人	14団体
平成26年	963人	13団体
平成27年	1,160人	34団体
平成28年	1,783人	48団体
平成29年	2,902人	70団体
平成30年	2,439人	48団体
令和元年	1,709人	32団体
令和2年	278人	9団体



■国登録有形文化財 奥山家住宅洋館・主屋の一般公開

	来館者	うち町外者数(割合)
平成26年9月23日 義経まつり	440名	290名(65%)
平成27年9月20日 義経まつり	652名	529名(81%)
平成28年3月5日 奥州街道フードフェスタ	651名	365名(56%)
平成28年9月22日 義経まつり	722名	459名(63%)
平成29年3月5日 奥州街道フードフェスタ	693名	485名(70%)
平成29年9月22日 義経まつり	713名	492名(72%)
平成30年3月4日 奥州街道フードフェスタ	695名	491名(71%)
平成30年9月23日 義経まつり	746名	567名(79%)
令和元年9月23日 義経まつり	622名	500名(80%)
令和2年 義経まつり	中止	-



評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第7回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和3年5月11日～令和3年5月25日(書面評決)	
<p>(コメントの概要)</p> <p>【進捗評価について】</p> <p>①阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園駐車場の工事は進行しているが、駐車場と防塁との距離があるのが残念である。中間地の用地を取得できないものか。</p> <p>②評価軸③-7(P.10) 定性的・定量的評価の「くにみ案内人」は17名が登録の記載に登録延べ人数を追記してはどうか。</p> <p>③評価軸④-1(P.12) 写真の「文化財パトロール 2/13発生福島県沖地震等被害状況調査」の説明文末尾が消えている。</p> <p>④評価軸④-5(P.16) 定性的・定量的評価の「建造物の公開」に「歴史的」の文言は不要か。</p> <p>⑤コロナ禍での対応となっており、定性的・定量的評価の中で、どのような課題があり、対応した結果、どのような成果があったのかコメントすべき。</p> <p>⑥全国的には感染症拡大下で様々なイベント、講座等が困難となる中、積極的に取り組まれており素晴らしい。どのような工夫により取り組めたのか書きこむことが望まれる。</p> <p>⑦進捗評価シートのほとんどが、「実施・検討にあたっての課題と対応方針」の記述がないので、進捗状況を委員として検証できない。</p> <p>⑧コロナ禍にもかかわらず、各種事業を進められたことに敬意を表します。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>①事業費や地権者同意等の問題があり、当該用地の取得が困難な状況となっている。課題改善に向け、財源確保等取り組んでいく。</p> <p>②くにみ案内人はこれまで文化財の案内に特化した文化財ボランティアを発展させた町の案内ガイドであり、今後は文化財のみでなく、町の食・観光など幅広く魅力を町内外へ伝えていく。令和2年度に新たに創設した組織のため、登録延べ人数は現在の登録者数である17名と同数である。</p> <p>③指摘箇所について追記する。</p> <p>④指摘箇所について追記する。</p> <p>⑤⑥「無形民俗文化財活動支援」や「歴史を活かしたまちづくり推進事業」などの項目で新型コロナウイルス対策や課題等を追記した。今後もコロナ対策を講じた事業の開催やオンライン等などの活動も検討しながら、安全を確保した上で事業を進めていく。</p> <p>⑦上記⑤⑥に記載した新型コロナウイルス対策以外の課題について、「実施・検討にあたっての課題と対応方針」に記載した。</p>	